

中部地区 公民館だより

第147号

令和5年5月9日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

4月7日(金)、第1回中部地区公民館運営協議会が開催され、令和5年度の運営方針、事業計画、収支予算などが承認されました。

スローガン

— 上山の魅力を感じて！ —
出会い、ふれあい、未来へとつなぐ
生涯にわたっての学習と交流の場

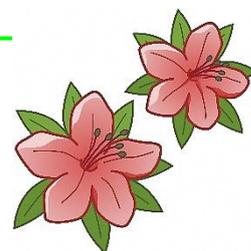


運営方針

新型コロナウイルス感染防止策の行動制限や経済活動の制限などの見直しが進む中、今後の動向に十分注意し感染対策等を行い、地域の方々の出会いの場、触れ合いの場、自己研鑽の場、学習と交流の場を数多くつくることにより、人と人とのつながりを強め、生きがいある豊かな人生に資する。また、自主的な住みよく潤いのある地域づくりを推進できるよう、公民館運営にあたっていく。

重点目標

- ① 中部地区公民館を地域の人にとって、さらに身近な公民館にする。
- ② 地域内外の団体等との連携や交流を行い、つながりを深める。
- ③ 地区の人材資源を活用し、地域づくりを推進する。
- ④ 体育レクリエーション事業により、地区のコミュニティを強める。
- ⑤ 地域づくり委員会の地域づくり活動をさらに進め、サポーターの協力を得ながら地域の交流を広げる。
- ⑥ グラウンド・ゴルフ愛好会及び各種愛好会の事業を支援し、積極的に男性の参加を得られるよう努力する。



令和5年度

役員名簿

公民館運営協議会

◎会長 ○副会長 ☆監事 【敬称略】

	地区役職	地区名	氏名		地区役職	地区名	氏名
1	地区会長会	栄町	秋保仁	13	学識経験者	下十日町	鎌上宏
2		東町	林秀夫	14		北町	堀川栄助
3		八幡丁	荒井伸一	15	民生児童委員	新湯	渡邊恭子
4		西山	◎牧野義文	16	高齢者教室	仲丁	☆田中徹
5		上十日町	片桐充	17	子ども会 育成会等	栄町	佐竹淳一
6		沢丁	☆長岡道子	18		軽井沢	佐々木壽
7		上新丁	安孫子剛宏	19	事業協力員	上十日町	○太田伸夫
8		新町	布川和雄	20	公民館長	仲丁	木村利明
9	女性代表	八日町1	原田あおい	顧問	美咲町	鈴木省三	
10		荒町	尾形礼子		アドバイザー	小学校校長	塚原洋樹
11		下十日町	羽島弘子				
12		新町	菊田喜美子				

事業協力員

○新任 【敬称略】

地区名	氏名	地区名	氏名	地区名	氏名
上十日町	太田伸夫	中十日町	○松本克彦	下十日町	羽島健夫
上新丁	安孫子剛宏	下新丁	鏡新一	北町	鏡陽一
栄町	齋野幸男	八日町1	鹿野内健	八日町2	○五十嵐克己
美咲町	柏倉正市	東町	稲毛陽一	沢丁	○吉田正子
新湯	○高橋浩	荒町	高木則子	八幡丁	永井仁
仲丁	○川上崇	湯町	木村勝也	湯町新道	
軽井沢	高橋秀一	御井戸丁	村山陽平	新町	菊田喜美子
西山	齋藤正行				

退任なされた方々には、これまで公民館活動にご尽力いただきまして、厚くお礼申し上げます。
また、再任、新任の役員の方々は、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



会議・研修

地域づくり委員会ほか

- 事業協力委員会(5月)
- 中部地区会長会(5月・3月)
- サポーター会議(5月)
- 公民館清掃(5月・11月)
- サポーター会視察研修(5月)
- 上山城周辺掃除(6月)
- 地域づくり委員会(8月・10月・11月)
- 消防訓練(事務局のみ)(9月・2月)
- 公民館運営協議会(10月・3月)



令和5年度事業計画

体育

レクリエーション関係

- キックベースボール講習会(5月14日)
- 街歩きウォーキング(5月・7月・9月・10月)
- グラウンドゴルフ大会(6月19日)
- モルック講習会(7月)
- フライングディスクと輪投げ大会(8月)
- けん玉講習会(9月)
- 地域の宝さがしウォークラリー(10月14日)
- ヨガ教室(11月・12月)
- 出前スポーツ(12月・1月・2月)



令和5年度事業計画

一般講座

スマホ教室(5月、2回)
 防災講座(各地区1名)(6月)
 事業所見学(防災センター
 +モスガーデン)(7月)
 健康講座(7月)
 一般講話(8月)
 男の七宝焼き(10月)
 演奏会(11月・12月)
 ケーキづくり教室(12月)
 ハンドクリームづくり教室(1月)



高齢者教室

学習会① 開級式(5月24日)
 学習会② 1日研修(6月)
 学習会③ けん玉教室(9月)
 学習会④ 健康講座(9月)
 学習会⑤ 映画鑑賞ほか(11月)
 ふるさとふれ合いフェスティバル(11月)
 学習会⑥ スポーツ教室(12月)
 学習会⑦ 歌の教室(1月)
 学習会⑧ 閉級式(2月)

参加者、ボランティア募集

公民館大掃除

日 時 5月27日(土)
 7時50分集合
 集合場所 公民館 多目的ホール



内 容 公民館内、外の清掃
 持ち物 掃除用タオル



ボランティア募集

街歩きウォーキング① 西山 *健康ポイント対象事業:20P付与 スマホ教室② (野外活動)

日 時 5月27日(土)
 午前10時30分出発
 午後1時ごろ解散
 集合場所 公民館ギャラリー
 対 象 中部地区在住の方
 定 員 スマホ教室 10人
 街歩き 20人



参加費 無料
 持ち物 スマホ教室の方はスマホ
 街歩きの方は特になし
 申込締切 5月19日(金)
 定員になり次第締切ります

参加者募集



・おにぎり、飲み物は公民館で準備します

5月の予定

9日(火) 事業協力員会
 12日(金) 第1回中部地区会長会
 14日(日) キックベースボール講習会
 15日(月) サポーター会議
 17日(水) はこべの会サロン
 18日(木) スマホ教室①
 24日(水) はこべの会 開級式
 27日(土) 街歩きウォーキング、サポーター
 視察研修、スマホ教室②
 公民館清掃

はこべの会 サロン

日 時 5月17日(水)午前10時から
 場 所 中部地区公民館
 内 容 抹茶お点前
 会 費 300円
 申込締切 5月11日(木)
 準備の都合上、キャンセルは5月15日
 まで連絡してください

5月の百歳体操

11日、18日、25日です

6月19日(月)に開催予定のグラウンド・ゴルフ大会の詳細は公民館だより6月号でお知らせいたします。

4月13日、火災報知器の誤作動では近隣の皆様に大変なご迷惑をおかけいたしました。大変申し訳ありませんでした。

藤井松平氏シリーズ 1.「藤井松平信通侯」(4)信通の生涯

信通侯は延宝四年（1676）生まれ、元禄十一年（1698）二十二歳で上山に入部し、上山藩主として二十四年間の治政でした。信通侯の出自を調べると興味深いことがわかります。父は松平信之ですが、母は小出吉英の五女です。小出吉英は但馬出石藩六万石の城主で、出石といえば沢庵禅師の生まれた地です。沢庵の父は出石藩主小出吉英に仕えた秋庭綱典で、その次男が沢庵です。沢庵は上山に流謫された時に小出吉英に数通の書翰を送っていますが、信通侯の母はその出石藩主小出吉英の娘だったのです。縁があるものですね。信通侯、人事幕閣は知っていたのでしょうか。

さて、藤井松平信通侯は「中務少輔」を称しました。一般には国名（国守名）を名乗るのが多いのですが、中務少輔とはどういうものでしょう。中務とは律令制八省に始まる天皇の詔書・勅旨を起草、卿・大輔・少輔が署名して下達指示する役職でした。もちろん江戸時代の肩書きは幕府具申による朝廷許可の体裁を取ります。又、関ヶ原の戦い以前の上ノ山に「中務少輔満兼（上ノ山殿）」（上山日向守満兼：里見左京太夫）という最上義光麾下の武将がいます。これは戦国乱世期の私称と考えられます。

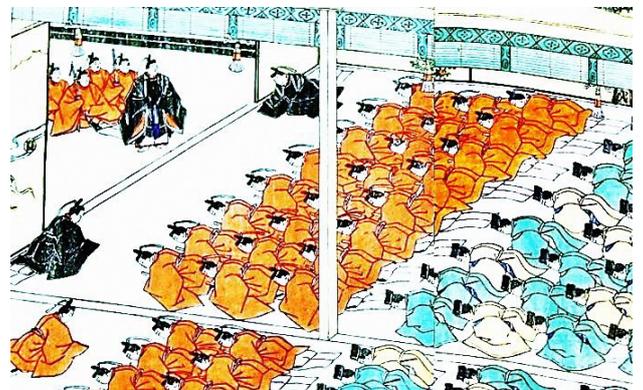
信通侯は、宝永四年（1707）に山城守、正徳四年（1714）大隅守、正徳五年（1715）越中守で、この越中守時代（享保二 1717 年）に老中連名で城再建の許可が発令されています。信通侯の位階は従五位下、江戸城詰は「雁の間」(2)でした。譜代大名が詰める「帝鑑の間」にも名があります。

さて、宝永六年（1709）のことですが新町古屋敷で木綿の種を初めて撒く人がいて、町人百姓ら多数が見物に集まったことが記されています。先に『元禄十年（1697）の榜令』を紹介しましたが、掟五条に新商売禁止の条がありません。大坂加番や諸勤番で出費が多いなか収税をあげなければならないのに多様な勸業施策を検討しなかったことを窺い知るのですが、商業・営農活動は全国の波に応じた取り組みがあった

ことを示しています。

最後に「憚りあること」としてあまり公にされていないのですが、家中の石田丈衛門のことを記さないわけにはいきません。「享保三年（1718）正月十四日、江戸より石田丈衛門が上山に帰ると、翌十五日に家老松平善右衛門宅へ呼び出され」大小刀を取り上げられて詰問があったと書き始められています（資料⑱）。家老は理由を詳らかにせず「切腹」を申し渡し、丈衛門は雪降る奥庭の畳上にて果てます。死骸は外原屠所にうち捨てられました。後日談があります。二月に丈衛門の息子が檣下に着くと切り殺され、丈衛門妻も江戸屋敷を追放されたというのです。事の発端は石田丈衛門が大坂に登る折りに京都より女一人を召し抱えて参れとの太守命があり見目よき女を抱えて戻ると、太守はご機嫌でしたが若殿の母の知るところとなり太守は豈はからんや石田の密通だと罪をかぶせ切腹を命じたのです。「石田丈衛門は不義非道の人にあらず、潔白律儀の人にてかかる無実の難にあいて非業の死にいかなる因果の業報にや実に無慙なりし、これ信通侯御代のことなり」（『上山見聞随筆』⑱）と記しています。

信通侯は、享保七年（1722）二月二十日大坂加番中に四十七歳で亡くなりました。長男は次郎四郎といいますが、幼くして亡くなっています。



江戸城 將軍謁見に居並ぶ大名

※参照文献：「上山市史」、「藤井御傳記」①、「上山年代略記」②、「上山三家見聞日記」⑱、「上山見聞随筆」⑱、「沢庵和尚書簡集」（岩波文庫）などを参照しました。